

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
すきなもののいっぱい	絵	2	食べ物や乗り物、動物など好きなものをたくさん描く。	知: 形や色を工夫する。	知: 好きなものを描く活動を通して、クレヨンやパスなどの色に気づいている。	思いつくままに、たくさん絵を描くとともに、描いた絵について友達と交流しながら、さらに自分から好きなものを見つけてたのしく描く学習活動に取り組もうとしている。
				技: 形や色を工夫する。	技: クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				思: 好きなものをいろいろ考える。	発: 好きなものを思い浮かべ、表したいことを見つけたり、好きな色や画用紙の形を考えたりしながら、どのように表すか考えている。	
				☆学: 好きなものをたくさん描いてたのしむ。	鑑: 自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。	
おしえて みんなの すきなもの	鑑	2	自分や友達が描いたものを見せ合う。	知: いろいろな形や色があることに気づく。	知: 自分や友達の描いた好きなものを見ることを通して、いろいろな形や色に気づいている。	友達の好きなものを知ったり、描いたものを見たりして友達のことを知ろうと積極的に絵を見たり、対話を広げようとしてたりし、自分や友達の描いたものの形や色の造形的な面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げている。
				☆思: 好きなものや描きたいものをたくさん見つける。	発: 自分や友達の描いたものの造形的な面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、見方や感じ方を広げている。	
				学: 友達の描いた好きなものを見てたのしむ。	主: 友達の描いた好きなものを見ることを通して、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
ねんどと なかよし	遊	2	粘土を触ってたのしく活動する。	知: 手をしっかり使って、粘土をいろいろな形に変える。	知: 粘土に働きかける感覚や行為を通して、触った感じや形の変化に気づいている。	さまざまな行為で粘土と関わり、できた形を並べたり積んだりして粘土を触った感じやそこから生まれる形をもとに、造形的な活動を思いつき、どのように表すか考えている。
					技: 丸める、のぼす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	
				☆思: 粘土でどんなことができるか考える。	発: 粘土を触った感じやそこから生まれる形をもとに、造形的な活動を思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑: 自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				学 粘土の触り心地をたのしむ。	主 粘土の触り心地を味わい、粘土のできる活動を考えたり、いろいろな形を見つける学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
すきなものいろいろあるね	立	2	土粘土に触れ合いながらつくりたいものをつくる。	知 粘土でいろいろなものづくり方を工夫する。	知 いろいろな表し方から生まれる粘土の形に気づいている。	粘土で好きなものをたくさんつくることに興味をもち、粘土の心地よい感触を味わい、粘土で好きなものをたくさんつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技 粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技 粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				思 粘土でつくりたいものをいろいろ考える。	発 これまでの経験や想像したことをもとに、粘土でつくりたいことを思いつき、どのように表すか考えている。	
				鑑 自分や友達の作品の面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の作品の面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆学 粘土でたくさんつくることをたのしむ。	主 粘土の心地よい感触を味わい、粘土で好きなものをたくさんつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
ならべてみつけて	遊	2	材料の形や色をもとに発想し、材料の並べ方を考えながら活動する。	知 身近な材料の並べ方を工夫する。	知 いろいろな材料を並べたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気づいている。	材料と積極的に関わりながら、その形や色、大きさなどの特徴を感じ取り、並べ方を工夫しながら、並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。
				技 並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	
				☆思 いろいろな並べ方を考える。	発 いろいろな材料の形や色、大きさなどの特徴から、並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。	
				鑑 いろいろな材料の形や色、大きさの並べ方やつなぎ方のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 いろいろな材料の形や色、大きさの並べ方やつなぎ方のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学 並べてできる形や色をたのしむ。	主 いろいろな材料の形や色、大きさなどに関心をもち、好きな並べ方を見つける学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
チョッキンパッドかざろう	工	4	折った色紙を切って開くとできる形をつなげて飾る。	☆知 紙の折り方や切り方を工夫する。	知 折り方や切り方によってできる形や色の組み合わせに気づいている。	折り方や切り方によってできる形や色の組み合わせを見つけ、新たな形に気づくとともに、折り方や切り方などをさまざまに試しながら、工夫して表している。
					技 折り方や切り方などをさまざまに試しながら、工夫して表している。	
				思 切った形や色の組み合わせを考え	発 自分のイメージをもちながら、折り方や切り方、色の組み合わせなどについて、どのように表すか考えている。	

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				心: 自分や友達の作品の面白さやたのしさを味わう。	鑑: 自分や友達の作品の面白さやたのしさを、表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学: つくったり飾ったりすることをたのしむ。	主: 折り方や切り方、色の組み合わせによって、いろいろな形や色の感じがあることに興味をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
さわってまぜてきもちいい	絵	2	手や指を使って絵の具で描くたのしさや気持ちよさを味わう。	知: 手や指を使った描き方を工夫する。	知: 手や指で描くことを通して、触った感じや絵の具の跡の形や色の違いに気づいている。	とろとろ絵の具の気持ちよさを味わい、手や指につけてのびのびと描いたり塗ったりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技: 手や指、体全体を動かす勢いや速さ、強さを変えるなど、手の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技: 手や指、体全体を動かす勢いや速さ、強さを変えるなど、手の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				発: 手や指で思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことやものを見つけて、どのように表すか考えている。	発: 手や指で思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことやものを見つけて、どのように表すか考えている。	
				思: とろとろ絵の具で描きたいことやものを考える。	思: とろとろ絵の具で描きたいことやものを考える。	
				鑑: とろとろ絵の具の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑: とろとろ絵の具の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
主: ☆ 学: 触って描く気持ちよさをたのしむ。	主: ☆ 学: 触って描く気持ちよさを味わい、手や指につけて描いたり塗ったりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
ひかりのくにのなかまたち	工	4	色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りをつくる。	知: ☆ 袋の形や色セロハンの色を工夫する。	知: 材料や作品を光にかざすことを通して、光が透過する材料の形や色に気づいている。	材料や作品などを光に透かしてかざして色の違いなどをたのしみ、光が透過する形や色の面白さに気づくとともに、袋の形を変えたり、中に入れる材料をいくつか組み合わせたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。
				技: 袋の形を考えたり、中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	技: 袋の形を考えたり、中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	
				発: 材料の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	発: 材料の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
				思: 光を通す材料からつくりたいものを考える。	思: 光を通す材料からつくりたいものを考える。	
				鑑: 自分や友達の作品の形や色の面白さ、たのしさなどについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑: 自分や友達の作品の形や色の面白さ、たのしさなどについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
主: 学: たのしくつくって飾る。	主: 学: 光を通した材料の美しさや面白さに興味をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
さいさいぐそーり	絵	3	筆の軌跡や線の動きから、感じたことや	知: 線の描き方や色の使い方を工夫する。	知: 共同絵の具で表す線の跡や動きから、形や色などに気づいている。	好きな色を自分から選んだり、筆の動かし方や描き方を考えたりして、心を開いて絵の具を筆で塗る快さを体全体で十分に味わい、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技: 共同絵の具の扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技: 共同絵の具の扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				発: 好きな色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのよ	発: 好きな色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのよ	

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
フワフワ、ハツハツ	自由	4	思いついたことを自由に表す。	<p>思 線のいい感じを見つける。</p> <p>☆ 学 のびのびと描くことをたのしむ。</p>	<p>知 うに表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 共同絵の具でのびのびと描く心地よさを味わい、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	
スタンプべったん	遊	2	身近な材料を使って、形を見つけながらスタンプする。	<p>知 写す形や色の組み合わせを工夫する。</p> <p>思 写しながら形を見つける。</p> <p>☆ 学 友達とスタンプ遊びをたのしむ。</p>	<p>知 いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色などに気づいている。</p> <p>技 手や体全体の感覚を働かせながら、スタンプをする活動を工夫してつくっている。</p> <p>発 身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。</p> <p>鑑 写された形や色から自分のイメージをもって、見ることをたのしんでいる。</p> <p>主 つくりだす喜びを味わい、スタンプをする学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	友達といっしょにいろいろなスタンプを使い、形を写す活動をたのしみながら、表された形や色を見て、組み合わせ方を工夫したり、自分のイメージをもってみたりして、つくりだす喜びを味わい、スタンプをする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
あそぼうよ パクパクさん	工	2	手で動かして遊ぶおもちゃをつくる。	<p>☆ 知 表したいことに合わせて切り方や貼り方を工夫する。</p> <p>思 動かしてたのしいパクパクさんを考える。</p> <p>学 パクパクさんで遊ぶことをたのしむ。</p>	<p>知 バクバクと動く様子から、つくりたいものを工作に表すことを通して、形や色などに気づいている。</p> <p>技 色画用紙や接着剤に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。</p> <p>発 バクバクと動く様子をもとにして、感じたことや、想像したことから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさを、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 つくりだす喜びを味わい、パクパクと動く様子をもとにしてつくりたいものを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	バクバクと動く様子から、つくりたいものを工作に表すことを通して、形や色などに気づくとともに、色画用紙や接着剤に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに自分ならではのこだわりをもって表し方を工夫している。
				<p>☆ 知 身のまわりにあるでこぼこを探してこすりだす。</p>	<p>知 凸凹をこすりだす活動を通して、クレヨンやパスで表される模様の形や色などに気づいている。</p> <p>技 クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。</p>	凸凹をこすりだす活動を通して、クレヨンやパスで表される模様の形や色などに気づき、クレヨンやパスの使い方に十分に慣れ、こすりだしを試しながら表したいことをもとに表し方を工夫して表している。

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
こすりだしから うまれたよ	絵・版	2	こすりだした模様の形や色から工夫して表現する。	思:こすりだしをして表したいことを考える。	発:こすりだしをする活動を通して、見えてきた形や色から表したいことや表したいものを見つけて、どのように表すか考えている。	
					鑑:自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学:クレヨンやパスでこすりだしをたのしむ。	主:クレヨンやパスで凸凹をこすりだす学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
うきうきボックス	工	4	紙箱の形を変えたり飾りをつけたりしてつくりたいものをつくる。	☆知:箱の飾り方を工夫する。	知:箱の飾りつけを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、形や色に気づいている。	箱の飾りつけを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、形や色に気づくとともに、空き箱の形や色の特徴からつくりたいものを思いつき、箱の形や模様や機能を生かし、表し方を自分なりに工夫して表している。
					技:箱の形や色を生かした飾りつけをするなど、表し方を工夫して表している。	
				思:箱の形を生かした飾りを考える。	発:空き箱の形や色をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
			学:箱をたのしく飾る。	鑑:箱の形や色を生かした飾り方の工夫について感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	主:空き箱を飾ることに関心をもち、空き箱で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
いろんなともだちはなしだす	立	2	型押しをした紙粘土をもとに顔をつくる。	知:型押しのかたや顔のつくり方を工夫する。	知:粘土を型押しすることを通して、できた形や色などに気づいている。	型押しをしてできた粘土の形から想像を広げて、いろいろな表情や顔の面白さなど、表したいことを考えている。
					技:型押しをすることや粘土べらを使ってつくることを通して粘土に慣れるとともに、表し方を工夫して表している。	
				☆思:どんな顔にするか考える。	発:型押しでできた粘土の形から想像して、どのように表すか考えている。	
			学:顔をつくったり、粘土の友達でお話ししたりすることをたのしむ。	鑑:つくった友達でお話しすることから、造形的な面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	主:粘土で顔をつくったり、粘土の友達でお話ししたりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
				知:いろいろな遊び方をして、紙の特徴に気づいている。	知:紙を優しく触ったり、歩きながら紙をなびかせたりして紙の特徴に気づいている。	紙の特徴を感じ取り、体全体を使って紙と仲良く遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
だいすき！わくわくペーパー	遊	2	大きな紙の触り心地や大きさなどの特徴を感じながら体全体を使って活動する。	描く。	技 紙と仲良くできるいろいろな遊び方をして活動を工夫してつくっている。	
				思 大きな紙を使ったたのしい遊びを考える。	発 紙を使って、どのようにたのしく遊ぶか考えている。	
					鑑 紙の大きさ、触った感じなどの面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆学 体全体を使って、紙で遊ぶことをたのしむ。	主 体全体を使って、紙で遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
ふわっとぎゅっとおはながみのえ	絵	4	丸めたり、ちぎったりしたお花紙を、並べたり重ねたりして絵に表す。	知 お花紙の形や、並べたり重ねたりする組み合わせを工夫する。	知 材料の形を変えたり貼り重ねたりすることを通して、材料のもつ形や色、触った感じに気づいている。	材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動に積極的に取り組もうとしている。
					技 材料の特徴を生かした形のつくり方や重ね方、貼り方を試しながら、表したいことをもとに工夫して表している。	
				思 貼りながら表したいものを考える。	発 貼り重ねた材料の形や色から表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑 お花紙の面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
☆学 材料の形や色、触り心地をたのしむ。	主 材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。					
おしらせします！にっこりニュース	絵	4	たのしかったことやうれしかったことを絵に表す。	☆知 知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。	知 クレヨンやパスなどの身近な材料を使って描く活動を通して、表したいものの形や色に気づいている。	クレヨンやパスなどの身近な材料を使い描く活動を通して、表したいものの形や色に気づくとともに、クレヨンやパスの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
					技 クレヨンやパスの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				思 一番知らせたいものを考える。	発 日常生活の中で感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑 自分や友達の作品を鑑賞することを通して、造形的な面白さやたのしさ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
学 みんなに知らせたいことをたのしく描く。	主 日常の出来事をたのしく描き、友達に知らせる学習活動にたのしく取り組もうとしている。					

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
くしゃくしゃ だいへんしん	立	4	くしゃくしゃにした紙からつくりたいものを立体に表す。	知 くしゃくしゃにした紙の形や色、組み合わせを工夫する。	知 色薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色などに気づいている。	色薄紙に働きかけることで生まれるさまざまな形や色、触った感じから、それらをもとに豊かにイメージを広げて、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。
				技 くしゃくしゃにした紙の形や色、組み合わせやつくり方を工夫して表している。	技 表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表している。	
				☆ 思 くしゃくしゃにした紙の形からつくりたいものを考える。	発 くしゃくしゃにした色薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。	
				学 紙の触り心地を味わいながらつくることをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したのや表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
ふわっ ふわっ ゴー	工	2	うちわであおぐと風で動くたのしいおもちゃを考えてつくる。	☆ 知 スチレン容器の切り方や飾りを工夫する。	知 つくったり互いの作品で遊んだりすることを通して、飾りの形や色に気づいている。	つくったり互いの作品で遊んだりすることを通して、飾りの形や色、風で動く面白さに気づくとともに、材料の形や動きの特徴を生かして、飾りをつけたり、模様を描いたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				思 動き方から、つくりたいおもちゃを考える。	技 動きの特徴を生かした飾りをつけたり、模様を描いたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				学 つくったり遊んだりしてたのしむ。	発 風で動く仕組みや動きの特徴をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑 互いの作品で遊ぶことを通して、動き方の面白さや飾りのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
つくって へんしん	工	4	さまざまな材料を選んだり組み合わせたりしながらつくり、身に付けてたのしむ。	知 変身グッズのつくり方を工夫する。	知 変身グッズをつくることを通して、形や色などに気づいている。	変身したいものに合わせた変身グッズのつくり方や飾りつけの方法を工夫してつくることや、変身する学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技 変身グッズのつくり方や飾りつけの方法などをいろいろ試しながら、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技 変身グッズのつくり方や飾りつけの方法などをいろいろ試しながら、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				思 変身したいものを考える。	発 自分が変身してみたいものに合わせた変身グッズを思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				☆学 変身グッズをつくったり、遊んだりすることをたのしむ。	主 変身したいものに合わせた変身グッズをつくることや、変身する学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
できたらいい こんなこと	絵	4	できたらいいと思うことを考えて絵に表す。	知 思いついたことに合わせて、描き方を工夫する。	知 絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、描かれているものの形や色に気づいている。	経験したことや想像したことをもとに自分らしい「やってみたいこと」を思いつき、表したいことが効果的に伝わるように、表すものの形や色、描き方など、どのように表すか考えている。
				技 伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。	技 伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。	
				☆思 できたらいいと思うことを考える。	発 経験したことや想像したことをもとに「やってみたいこと」を思いつき、どのように表すか考えている。	
				鑑 友達が想像した「ゆめのたしざん」のたのしさを、表し方のよさや違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 友達が想像した「ゆめのたしざん」のたのしさを、表し方のよさや違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
			学 想像を広げて描くことをたのしむ。	主 経験したことから自由に想像を広げて、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
はこと はこを くみあわせて	立	4	空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表す。	知 箱の組み合わせやつけ方を工夫する。	知 いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色に気づいている。	箱の形や構造、色などの特徴をもとに、つくりたいものを思いつき、効果的な組み合わせなど、どのように表すか考えている。
				技 紙箱の組み合わせ方や飾りつけ、接着の方法など、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技 紙箱の組み合わせ方や飾りつけ、接着の方法など、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				☆思 箱を組み合わせてつくりたいものを考える。	発 紙箱の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
				鑑 自分や友達の作品を鑑賞したり、作品で遊んだりすることを通して、造形的な面白さやたのしさ、表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の作品を鑑賞したり、作品で遊んだりすることを通して、造形的な面白さやたのしさ、表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
			学 箱を組み合わせてつくることをたのしむ。	主 箱を組み合わせることで、いろいろな形ができることに関心をもち、箱を組み合わせてつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
ようこそ あたらしい 1ねんせい	工	6	友達と関わり合いながら自分の気持ちを伝える作品をつくって飾る。	知 形や色を工夫してついたり飾ったりする。	知 伝えたい気持ちを表すために、思いついたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色に気づいている。	つくりだす喜びを十分に味わい、心を込めて伝えたい気持ちを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技 はさみやのりなどの接着剤、ビニルや色紙などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技 はさみやのりなどの接着剤、ビニルや色紙などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
			思 目た人がたのしくなるようなものを考え	発 伝えたい気持ちから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。		

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				心づかひをたのしみ、なまなましくつくり、自分の気持ちを伝える。	自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学 心を込めてつくり、自分の気持ちを伝える。	主 つくりだす喜びを味わい、伝えたい気持ちを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
すきなこと なあに	絵	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	知:好きなことの形や色を工夫して描く。	知:絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。	自分が好きなことを絵に表す学習活動に強い関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。
					技:表したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。	
				思:描きたい場面を考える。	発:経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。	
				☆学:好きなことを思い浮かべながら描くことをたのしむ。	鑑:自分や友達の作品の表したいことや表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。	
こんにちは むぎゅたん	立	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	知:ひねったりつまんだりして形を工夫する。	知:手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。	粘土の塊からひねったり、つまんだり、伸ばしたり、穴を開けたりする操作を通して、思いついた形を変えながら表したい想像の生き物を見つけて、どのように表すか考えている。
					技:粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。	
				☆思:粘土の形を変えながら、想像した生き物を考える。	発:粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				学:粘土の触り心地を感じながらつくることをたのしむ。	鑑:粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形のよさや面白さ、表し方などについて感じ取って、自分の見方や感じ方を広げている。	
クレヨン、パスでらんらんランド	絵	4	クレヨンやパスでぼかしたりひっかいたりして、感じたことや思いついたことを絵に表す。	☆知:クレヨンやパスの表し方を工夫する。	知:ぼかしたり引っかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやパスで表す形や色に気づいている。	クレヨンやパスのいろいろな表し方を積極的に試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさ、面白さに気づくとともに、表したいことに応じて表し方を選んだり、それらを組み合わせたりするなど、工夫して表している。
					技:いろいろな表し方を試したり組み合わせたりしながら、表し方を工夫して表している。	
				思:こすってぼかしたり引っかいたりして描きたいものを考える。	発:クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑:クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。	

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				学 ぼかしたり引っかいたりして描く絵をたのしむ。	主 クレヨンやパスをぼかすことや引っかいたりすることで絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
さらさら だろだろ	遊	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知 砂や土を掘ったり丸めたり並べたりする。	知 自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。	砂や土の触り心地を存分に味わい、並べる、つなげる、積む、掘る、水を流すなど、体全体の感覚を働かせ、友達と協力しながら学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技 砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。	
				思 砂や土でどんなことができるか考える。	発 砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。	
				☆学 砂や土の触り心地をたのしむ。	鑑 砂や土の造形的な面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
おはながみ かさねて すかして	工	4	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知 お花紙の並べ方や重ね方を工夫する。	知 作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じや、重なったお花紙の形や色などに気づいている。	お花紙の形や色、触り心地をもとに、いろいろな並べ方や重ね方を積極的に試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				技 お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	技 お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	
				☆思 並べたり重ねたりしたお花紙から、好きな感じを考える。	発 お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				学 お花紙の手触りや変化をたのしむ。	鑑 お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
つんでならべてびっくりタワー	立	2	粘土を積んだり並べたりしながら、つくりたいものをつくる。	知 粘土の積み方や並べ方を工夫する。	知 見たことがない形の「びっくりタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。	粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、見たことがない形をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技 粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。	技 粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。	
				思 積んだり並べたりした形から、つくりたいもの	発 粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。	

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿
				心	主	鑑	主	
				心の考える。	粘土を積んだり並べたりして、つくることをたのしむ。	互いの作品の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、つくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
ならべて 見つけて いろいろ色水	遊	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知	色水のつくり方や並べ方を工夫する。	知	色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときや並べたときの形や色に気づいている。	つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、自分なりにどのように活動するか考えている。
				技		技	いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。	
				☆ 思	色水をつくりながら、どんなことができるか考える。	発	つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
				鑑		鑑	自分や友達の活動の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学	色水をつくったり並べたりすることをたのしむ。	主	色水をつくったり並べたりすることに関心をもち、色水で思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
ふたりは なかよし	立	2	紙コップや紙づつを組み合わせ、二人組をつくる。	知	紙コップや紙づつの形や飾りのつくり方を工夫する。	知	紙コップや紙づつなどの組み合わせを考えながら、形や色などに気づいている。	仲良しの二人組を意欲的につくったり、友達と交流したりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				技		技	手や体全体の感覚を働かせながら、自分の表したい二人組の表し方を工夫して表している。	
				思	どんな二人組にするか考える。	発	紙コップや紙づつの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつき、どのように表すか考えている。	
				鑑		鑑	自分や友達の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学	仲良しの二人組をつくってたのしむ。	主	仲良しの二人組をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
どうぶつさんと いっしょに	絵	4	見たり遊んだりした動物を思い出して絵に	☆ 知	描きたい場面になるように、形や色を工夫する。	知	動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。	動物の形や色、触った感じ、まわりの風景などをよく思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づくとともに、表したい場面になるように描き方を工夫して表している。
				技		技	表したいことをもとに描き方を工夫して表している。	
						発	動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを	

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
こぶがくさんこぶがくさん	こぶがくさん	7	表す。	<p>思: 描きたい場面やそのときの気持ちを考える。</p> <p>学: 動物といっしょにいる場面を描くことをたのしむ。</p>	<p>知: 見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑: 自分や友達の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: 動物との関わりを思い出して、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	
ジャンプ！キャッチ！紙けん玉	工	4	仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊ぶ。	<p>☆知: 紙けん玉の形や色、つくり方を工夫する。</p> <p>思: 仕組みからつくりたい紙けん玉を考える。</p> <p>学: 紙けん玉をつくったり、遊んだりすることをたのしむ。</p>	<p>知: 紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。</p> <p>技: すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。</p> <p>発: 仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑: 友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: けん玉をつくって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づくとともに、すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造やたのしい遊び方を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を自分なりに工夫して表している。
えのぐじま	絵	2	筆をのびのびと動かして描きたい「えのぐじま」を描く。	<p>知: 筆使いや色の組み合わせを工夫する。</p> <p>思: 描きたいえのぐじまを考える。</p> <p>☆学: 絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしむ。</p>	<p>知: 筆をのびのびと動かして描くことを通して「えのぐじま」の形や色などに気づいている。</p> <p>技: 筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら表し方を工夫して表している。</p> <p>発: 「えのぐじま」などの言葉や絵の具の感触から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑: 絵の具で描かれた形や色などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: 絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	絵の具を筆で塗る心地よさを体全体で十分に味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく活動に取り組もうとしている。
				<p>知: 新聞紙のねじり方、裂き方などを工夫する。</p>	<p>知: 新聞紙に働きかけることを通して、変化する形などに気づいている。</p> <p>技: 新聞紙を折ったり、ねじったり、裂いたりするなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。</p>	積極的に新聞紙に働きかけ、変化した感じなどをもとにさまざまな造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
どンドン かわるよ 新聞紙	遊	2	体全体を使って、新聞紙で活動する。	☆ 思 新聞紙をねじったり裂いたりしながら、どんなことができるか考える。	発 新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
					鑑 さまざまに変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、自分の見方や考え方を広げている。	
				学 新聞紙の手触りなどを感じながら、変化させることをたのしむ。	主 新聞紙の触り心地を味わい、手や体全体で新聞紙に働きかけて変化させる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
ぎゅっとしたい！わたしの「お友だち」	工	4	紙をもんで柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」をつくる。	☆ 知 袋の形や色、材料の使い方を工夫する。	知 紙をもんで柔らかくして「お友だち」をつくることを通して、紙の形や色などに気づいている。	もんで柔らかくした紙の形や色、感触などの感じに気づくとともに、手や体全体の感覚を働かせ、自分の表したい「お友だち」の形や色、材料の使い方を工夫して表している。
					技 手や体全体の感覚を働かせ、紙を柔らかくして自分の表したい「お友だち」の表し方を工夫して表している。	
				思 柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」を考える。	発 柔らかくなった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつき、形や色などどのように表すか考えている。	
		鑑 「お友だち」の形や色、感触などについて、感じ取ったり味わったりし、自分の見方や感じ方を広げている。	主 自分の「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
えのぐひっぱレインボー	絵	4	厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのばし、できた模様から絵に表す。	知 絵の具ののばし方を工夫する。	知 自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。	色を選んだり、厚紙の引き方を工夫したりして、つくりだす喜びを味わい、絵の具をのばして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
					技 絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。	
				思 のばした絵の具の形や色から表したいことを考える。	発 厚紙でのばした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
		鑑 自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表したいことなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	主 つくりだす喜びを味わい、絵の具をのばして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。			
				☆ 知 絵の動き方や 作り方を工夫する	知 紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づいている。	紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づくとともに、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
コップくるくる チェンジ	工	2	紙コップに透明なコップを重ねて回転させることで絵が変化する仕組みから、表したいものをつくる。	<p>技: 仕組みを試しながら、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。</p> <p>発: 仕組みから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑: 自分や友達作品を動かしたり見たりしながら、いろいろな表し方の面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: 仕組みに関心を持ち、表し方を考えながら、つくって動かす学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>		
たからものものがたり	鑑	2	宝物が大切な理由を考えて、友達に伝える。	<p>知: 宝物の形や色などに気づく。</p> <p>☆ 思: 大切な宝物にしている理由を考える。</p> <p>学: 宝物を見て、話し合う活動をたのしむ。</p>	<p>知: 身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。</p> <p>技: 自分の気持ちをカードに工夫して表している。</p> <p>発: 身近なものにある思い出などから自分のイメージをもっている。</p> <p>鑑: 身近にあるものの造形的な面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: 身近にあるものに関わり、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	身近なものを鑑賞する活動を通して、自分や友達作品の造形的な面白さやたのしさ、見方や感じ方の違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
しぜんからの おくりもの	遊	2	自然の材料を集め、つないだり組み合わせたりして活動する。	<p>知: 材料の並べ方や重ね方など、組み合わせを工夫する。</p> <p>思: 材料の形や色から、どんなことができるか考える。</p> <p>☆ 学: 自然の材料でたのしく活動する。</p>	<p>知: 自然の材料を集め、並べたり組み合わせたりすることを通して、材料の形や色などに気づいている。</p> <p>技: 自然の材料を並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせて、活動を工夫してつくっている。</p> <p>発: 自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。</p> <p>鑑: 活動によって表れた造形的な面白さやたのしさから、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: 自然の材料の形や色に関心を持ち、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	自然の材料の形や色、触った感じなどに積極的に関わりながら、自然の材料を並べたり組み合わせたりして、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
わくわく カッターナイフ	工	2	カッターナイフを使っていろいろな線を切る活動をする。	知: カッターナイフの使い方に慣れる。	知: カッターナイフで紙を切ることを通して、切ってきた形や色に気づいている。	カッターナイフでいろいろな線を切ることで、切ってきた形や色に気づくとともに、カッターナイフの安全で正しい使い方に十分に慣れ、いろいろな線で切ることやその効果を試し、工夫して表している。
				技: カッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。	技: 安全で正しいカッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。	
				思: 切ってきた形から、つくりたいものを考える。	発: カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				鑑: 形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑: 形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
学: 紙を切るたのしさを味わう。	主: カッターナイフで紙を切る心地よさを味わい、紙を切る学習活動にたのしく取り組もうとしている。	主: カッターナイフで紙を切る心地よさを味わい、紙を切る学習活動にたのしく取り組もうとしている。				
まどのある たてもの	工	4	色画用紙や色造形紙をカッターナイフで切って窓を開けるなどして、建物をつくる。	知: 建物の形や、窓の開け方を工夫する。	知: カッターナイフで紙を切って窓や扉のある建物をつくることを通して、建物や窓や扉の形や色などに気づいている。	安全で正しいカッターナイフのもち方、切り方を意識しながら、切った形をもとに表したいことを見つけ、自分なりにどのように紙を切って表すか考えている。
				技: カッターナイフの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。	技: カッターナイフの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。	
				思: どんな形に切るか考えたり、どんな建物にするか考えたりする。	発: カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				鑑: 自分や友達作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑: 自分や友達作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
学: カッターナイフで紙を切ってつくることをたのしむ。	主: カッターナイフで紙を切る快さを味わい、カッターナイフで紙を切って表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	主: カッターナイフで紙を切る快さを味わい、カッターナイフで紙を切って表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。				
あなでつながる 二つの せかい	絵	4	画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表す。	知: 穴を生かした絵の描き方を工夫する。	知: 穴でつながる二つの世界を描くことを通して、そこに生まれる形や色に気づいている。	穴でつながる二つの世界を豊かに想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか自分なりに考えている。
				技: 穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。	技: 穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。	
				思: 表と裏の二つの世界を考える。	発: 穴でつながる二つの世界を想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				鑑: 二つの世界を行き来しながら自分や友達作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑: 二つの世界を行き来しながら自分や友達作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				学:友達と作品を見せ合ったのしむ。	主:自分や友達の作品のよさを味わい、穴でつながる二つの世界を描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
たくさん うつそうわたしの形	絵・版	4	型紙をつくって並べ方や重なり方などを工夫して版画に表す。	☆ 知:繰り返しや重なりなど、写し方を工夫する。	知:版を写す活動を通して、写るものの形や色に気づいている。	版を写す活動を通して、写るものの形や色に気づくとともに、自分で考えた形をたくさん写しながら、版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、工夫して表している。
				思:写し方を試しながら、表したいことを考える。	技:版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。	
				学:型紙版画で写すことをたのしむ。	発:たくさんあったら面白い形を考え、造形的な面白さやたのしさを感じながら、どのように表すか考えている。	
					鑑:自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
					主:型紙版画の表現に関心をもち、版で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
まごころメダルを プレゼント	工	4	紙粘土でメダルをつくって、気持ちを伝える。	知:気持ちが伝わるようにメダルの形や色を工夫する。	知:紙粘土の型押しをしたり絵の具で着彩したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。	贈る人の好きなものや、その人に関わることを積極的に作品に取り入れて、メダルをつくることを通して、気持ちを伝える学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				思:贈る人のことを思い浮かべてメダルを考える。	技:紙粘土や絵の具の扱い方に慣れ、表し方を工夫して表している。	
				☆ 学:メダルで気持ちを伝えることをたのしむ。	発:贈る人のことを思い浮かべてメダルをイメージし、どのように表すか考えている。	
					鑑:自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
かぶって へんしん	工	6	お花紙を重ねて貼り、張り子のお面をつくって遊ぶ。	知:形や色、紙の貼り方を工夫する。	知:お面をつくったり、かぶったりすることを通して、お花紙でつくるお面の形や色などに気づいている。	積極的にお面をつくったりかぶる活動に関わり、お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつくってかぶって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。
					技:お花紙や身近な材料などの扱いに十分に慣れるとともに、紙の貼り方を工夫して表している。	
				思:つくりたいお面を考え	発:なりたいもののイメージを広げて、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。	

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				心 お面をつくりかぶる。	鑑 お面をつくることやかぶるを通して、造形的な面白さやたのしさを 感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆学 お面をつくったりかぶったりしてたのしむ。	主 お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつ くってかぶって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。	

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿	
絵の具と水のハーモニー	絵	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。	☆ 知 絵の具に混ぜる水の量を変えて、描き方を工夫する。	知 筆の動かし方や水の量を変えて描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	筆の動かし方や水の量を変えて描くことを通して、形や色などの感じがわかるとともに、水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を自分なりに工夫して表している。	
				技 水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。	技 水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。		
				思 描き方を試しながら、表したいことを考える。	発 絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 描き方を試しながら、絵の具で描くことをたのしむ。	主 描く心地よさを味わい、いろいろな描き方を試して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		主 描く心地よさを味わい、いろいろな描き方を試して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
ふわふわ空気 つんでつなげて	遊	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知 空気を入れたビニル袋の積み方やつなぎ方を工夫する。	知 膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。	膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを十分に味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。	
				技 膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。		
				思 空気を入れたビニル袋で、どんなことができるか考える。	発 膨らませたビニル袋を積んだりつなげたりしながら活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。		鑑 膨らませたビニル袋の形や色、感触、場所などの感じについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学 ビニル袋のふわふわした心地よさをたのしむ。	主 膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。		主 膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。
生まれかわった なかまたち	立	4	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	知 材料の形や色を生かした組み合わせ方を工夫する。	知 材料に触れたり変化させたりして表す形や色の組み合わせの感じがわかっている。	衣類や布などの多様な材料を組み合わせながら、材料の形を生かして仲間の形を思いつき、どのように表すか考えている。	
				技 材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	技 材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				☆ 思 いろいろな布の形や色からつくりたい仲間を考える。	発 材料を変化させて表す形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		鑑 材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。
				主 材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。	主 材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。		主 材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿	
				学	主		
カラフルねん土でマイグッズ	工	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ったのしいものをつくる。	学	集めた材料から仲間をつくることをたのしむ。	主	材料を変化させて表すことに興味をもち、立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
				知	カラフル粘土を使って、つくり方を工夫する。	知	カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。
				技		技	これまでの経験を生かし、紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ったのしいものの表し方を工夫して表している。
				☆思	カラフル粘土と空き容器を組み合わせて、たのしく使えるものを考える。	発	カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ったのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑		鑑	つくったものを生活の中で使うことから、形や色のよさや美しさ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
学	カラフル粘土でつくることをたのしむ。	主	つくる喜びを味わい、カラフル粘土で使ったのしむものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。				
かげのへんしん	遊	2	友達と協力して、身のまわりの影を変化させることや影のよさを味わうことをたのしむ。	知	材料の形や組み合わせから影の表し方を工夫する。	知	影との関わりを通して、影の形や変化した感じがわかっている。
				技		技	見つけた影をもとに、影をつけたしたり組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
				☆思	影の形から、表したいことを考える。	発	影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑		鑑	さまざまな影のよさや面白さを味わい、自分の見方や考え方を広げている。
☆学	友達と協力して、影を変身させることをたのしむ。	主	友達と協力しながら、影を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。				
光サンドイッチ	工	4	色セロハンなどをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆知	光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。	知	光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっている。
				技		技	光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりして表し方を工夫して表している。
				☆思	光を通した材料からつくりたい飾りを考える。	発	光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したい飾りを思いつき、どのように表すか考えている。

カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使う目的や使い方などを考えて、たのしく使うものを思いつき、ふさわしい形や色など、どのように表すか考えている。

友達と協力しながら、手や体全体で影に働きかけ、影を変化させることや変化した感じなどをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。

光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかるとともに、光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりして、表し方を自分なりに工夫して表している。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿		
					鑑	主			
				いる。	鑑	光を通した材料の形や色に着目し、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。			
				光にかざしたときの材料の美しさをたのしむ。	主	光を通したときの材料や飾りの美しさ味わい、飾りをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。			
はこの中の世界	工	4	箱や紙粘土を工夫して使いながら、表したい世界をつくる。	☆ 知	箱の形や色、材料の使い方を工夫する。	知	箱や紙粘土などの材料を扱ったり、形を変えたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっている。	箱や紙粘土などの材料を扱ったり、形を変えたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかるとともに、箱や紙粘土などの材料やはさみなどの用具を適切に扱い、これまでの経験を生かしながら自分なりに表し方を工夫して表している。	
				技		技	箱や紙粘土などの材料やはさみなどの用具を適切に扱うとともに、これまでの経験を生かしながら表し方を工夫して表している。		
				発	思	箱の中につくりたい世界を考える。	発		紙や箱の形から表したい世界を想像して、どのように表すか考えている。
				鑑		鑑	自分や友達の作品を鑑賞することを通して、材料や表し方の工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	箱の中につくることをたのしむ。	主	材料を選んだり、表し方を工夫したりして、箱の中の世界をつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
けずってつけてわたしたちの形	立	2	粘土を削ったりつけたりしながら、表したいことを思いつき、立体に表す。	知	粘土の削り方やつけ方を工夫する。	知	粘土の削ったりつけたりする行為を通して、粘土のできる形の感じがわかっている。	さまざまな形に削ったりつけたりする中で、塊の粘土の形を変えながらどんな形にしたいか、思いついたことを形にしようとし、どのように表すか考えている。	
				技		技	手や指、道具を使い、粘土の表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	粘土を削ったりつけたりして、どんな形ができるか考える。	発	削ったりつけたりしながら、どんな形にしたいか、どのように表すか考えている。		
				鑑		鑑	いっしょにつくっている友達の作品や、他のグループの作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	粘土を削って、友達とつくることをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、削ったりつけたりして立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
すきか色で すてきか花を	絵	っ	身のまわりにある花に注目し、感じたこ	知	色の組み合わせ方や筆の使い方を工夫する。	知	好きな色の絵の具を選び、身のまわりにある花を絵に表すことを通して、表れる形や色などの感じがわかっている。	水彩絵の具で、好きな色を筆につけて、思いのままに描く心地よさを味わい、表したいイメージに合わせて、花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	
				技		技	表したい感じに合わせて、絵の具の色の組み合わせや、筆の動かし方を工夫して表している。		
				発		発	花の形や色、匂いなど、感じたことをもとに、自分の表したい花の形		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
フジのしりとり、フジのしりとり	フジ	4	とをもとに、好きな色の絵の具で描く。	<p>思 見つけた花の形や色をもとに、表したい感じを考える。</p> <p>☆学 好きな色の絵の具をたっぷりつけて描くことをたのしむ。</p>	<p>知 や色を見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 絵の具の色の組み合わせ方や筆の動かし方の工夫によって表れる形や色などのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 描く心地よさを味わい、好きな色で花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>	十分満足できると考えられる具体的な姿
にじんで広がるものがたり	絵	4	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	<p>知 にじみでできる形や色の組み合わせを工夫する。</p> <p>☆思 にじみでできた形や色からお話を考える。</p> <p>学 にじみで表すことをたのしむ。</p>	<p>知 クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっていく。</p> <p>技 にじみでできる形や色やそれらの組み合わせをいろいろ試して、表し方を工夫して表している。</p> <p>発 にじみでできた形や色の感じから自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品を見て、よさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 にじみを生かして自分の世界を表す学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>	にじみでできた形や色の感じから、自分のイメージをもち、より豊かな表現を目指して考えたことやお話を思いつき、粘り強くどのように表すか考えている。
ようこそ！アミアミワールド	遊	2	網を使って場所を生かした活動をする。	<p>知 場所に合った網の使い方を工夫する。</p> <p>☆思 網をいろいろな場所に引っかけることから、たのしい活動を考える。</p> <p>学 網を使って、友達と協力して活動する。</p>	<p>知 網に触れたり、場所に関わったりしながら、その形や色などの感じがわかっていく。</p> <p>技 網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。</p> <p>発 大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の活動のよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 友達と協力しながら、網を使った学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、活動を思いついたり、どのように活動するか自分なりに考えている。
				<p>知 表と裏で絵が変身するように形を工夫する。</p>	<p>知 表と裏で絵が変身するクイズを通して、同じ形でも見る人によって違って見えるおもしろさに気づき、形や色の感じがわかっていく。</p> <p>技 表したいクイズの絵に合わせて、描き方を工夫して表している。</p>	変身する絵を表したりクイズをしたりすることに関心を持ち、友達のアイデアや作品のよさや自分との違いに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
このカタチ へんしんすると	絵	2	同じ形の表と裏で絵が変身するクイズをつくって友達とたのしむ。	見方によって違うものに見えるものを考える。	発見 見方を変えることから描きたい絵の裏の絵を思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑 クイズを通して、友達の作品の表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆学 友達の作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ。	主 友達のアイデアや作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。	
みんなで作ろう ねん土ランド	立	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	粘土でできることを生かして、立体的な表し方を工夫する。	知 粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土でできる形の感じがわかっている。	自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土に働きかけて自由に表現してつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
					技 握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土の表し方を工夫して表している。	
				思 どんなねん土ランドにしたいのか考える。	発 粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、表したい「ねん土ランド」を思いつき、どのように表すか考えている。	
	☆学 友達とアイデアを出し合いながら、つくることをたのしむ。	主 自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土でつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。				
ためしてあそんでマグネット	工	4	磁石と身近な材料で、磁石の働きを生かしたおもちゃをつくる。	動きの感じに合わせて、形や色を工夫する。	知 磁石の動きをもとに箱や色紙など身辺材料を組み合わせながら、形や色などの組み合わせの感じや動きの特徴がわかっている。	形の色の感じや、磁石の動きの特徴を理解するとともに、箱や色紙などの材料や用具を適切に扱い、手や体全体を十分に働かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて、表し方を自分なりに工夫して表している。
					技 箱や色紙などの材料や用具を適切に扱うとともに、手や体全体を十分に働かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて表し方を工夫して表している。	
				思 動きを試しながらつくりたいものを見つける。	発 箱や色紙、身辺材料などの組み合わせ方や磁石の特徴から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、動きや形や色などを生かしながらどのように表すか考えている。	
	学 磁石の力を感じて、たのしみながらつくる。	主 つくりだす喜びを味わい、磁石の働きを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。				
				知 夢をかなえた瞬間を思い浮かべ、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっている。		将来の自分を豊かに想像し、夢をかなえた場面を具体的に思いつき、自分や周囲の様子などをどのように表すか積極的に考えている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
未来にタイムスリップ	絵	4	将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	<p>知: 夢をかなえた場面を表現する。</p> <p>☆ 思: 夢をかなえた場面を考える。</p> <p>学: 自分の夢を表すことをたのしむ。</p>	<p>技: 描画材料を使った経験を生かし、夢をかなえた瞬間の場面に合わせて表し方を工夫している。</p> <p>発: 自分が夢をかなえた場面を思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑: 自分や友達の作品の造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: 自分の夢を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>	十分満足できると考えられる具体的な姿
ふしぎな乗りもの	絵	4	身近なものがどんな乗り物になったら面白いと考えて、絵に表す。	<p>知: 乗り物の形や色などの描き方を工夫する。</p> <p>☆ 思: 不思議な乗り物やお話を考える。</p> <p>学: 不思議な乗り物を描くことをたのしむ。</p>	<p>知: 不思議な乗り物を絵に表すことを通して、身近なものの形や色の感じがわかっている。</p> <p>技: 不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。</p> <p>発: 身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。</p> <p>鑑: 形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>主: 想像を膨らませることに興味をもち、不思議な乗り物を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>	自分の身近にあるものの形や特徴から不思議な乗り物を想像を広げて豊かに発想し、形や色、その組み合わせ方などをよく考えながらお話のイメージを広げ、主体的に表し方を考えている。
トントんくぎ打ち コンコンビー玉	工	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。	<p>知: 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫する。</p> <p>思: ビー玉が転がるたのしいコースを考える。</p> <p>☆ 学: 釘打ちの心地良さを味わいながら、みんなでコースづくりをたのしむ。</p>	<p>知: 金づちを使って釘を打ったり、材料を打ちつけたりしながら、形や色の感じがわかっている。</p> <p>技: 釘や金づちを適切に扱い、釘の打ち方や材料のつけ方を工夫して表している。</p> <p>発: ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、転がるとたのしい仕組みを考えている。</p> <p>鑑: 自分や友達がつくったコースで遊び、それぞれのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。</p> <p>主: 釘を打つ感触を味わい、友達と協力して、コースをつくったりつくったコースで遊んだりする学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>	釘打ちをたのしみ、たくさんの釘を板に打ち込み、より面白いコースにしようとしてつくり、友だちと話し合いながら、コースをつくったりつくったコースで遊んだりする学習活動に進んで取り組もうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿	
えっへん！わたしが主人公です	鑑	2	絵画に描かれた架空の生き物の中から気に入った生き物を選び、感じたことや、想像したことを描き、考えたことを友達と話し合う。	知 作品に描かれた生き物を見て、形や線、色の特徴に気づく。	知 ジョアン・ミロの「耕作地」に描かれた架空の生き物を主人公にして絵を描きながら、形や線、色などの感じがわかっている。	気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えて絵を描き、気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、互いの考えの違いなどに気づき、自分の見方や考え方を広げている。	
				技 気に入った架空の生き物の表し方を工夫して表している。	技 気に入った架空の生き物の表し方を工夫して表している。		
				☆ 思 作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考える。	発 気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えたり、絵を描いたりしている。		鑑 気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、自分の見方や考え方を広げている。
				学 作品に描かれた生き物から想像を広げることをたのしむ。	主 想像をしたことを描いたり、友達と互いの考えを話し合ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。		主 想像をしたことを描いたり、友達と互いの考えを話し合ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
のこぎりザクザク つないでつけて	工	4	角材をたくさんのがざりで切り、木片を組み合わせてつくりたいものをつくる。	☆ 知 のこぎりの使い方を知り、木切れの組み合わせ方を工夫する。	知 のこぎり角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっている。	のこぎり角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかるとともに、のこぎりの扱いに十分に慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切の組み合わせ方を工夫して表している。	
				技 のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切の組み合わせ方を工夫して表している。	技 のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切の組み合わせ方を工夫して表している。		
				思 木切れを組み合わせながら、つくりたいものを考える。	発 切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせて表すか考えている。		鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 のこぎり角材を切ったり、木切れを組み合わせたりすることをたのしむ。	主 木の感触を味わい、のこぎり角材を切り、木片を組み合わせてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		主 木の感触を味わい、のこぎり角材を切り、木片を組み合わせてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
うつしてふえるよ でこぼこさん	絵・版	4	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆ 知 版のつくり方や写し方を工夫する。	知 身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかっている。	身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかるとともに、「でこぼこさん」が写すことで増えることを生かし、写す位置やインクの色合いを意識して写し方を工夫して表している。	
				技 身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インクの色を組み合わせ方や写し方を工夫して表している。	技 身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インクの色を組み合わせ方や写し方を工夫して表している。		
				思 どんな「でこぼこさん」にするか考える。	発 「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したのから想像を広げたりしている。		鑑 友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				鑑 友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				学主	主	
				版をつくったり、写したりすることをたのしむ。	身近な材料の凹凸に関心を持ち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	
わくわく！スーパーランドセル	工	6	ランドセルの中の世界を想像し、思いついたことを段ボールで表す。	知 つくりたいものに合わせて材料を選び、つくり方を工夫する。	知 ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、材料の形や色などの感じがわかっている。	ランドセルの中の様子を表す活動に関心を持ち、自分や友達の作品のよさやつくりだす喜びを味わい、想像の世界をランドセルの中に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
				技 ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	技 ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	
				思 ランドセルの中の様子を思い浮かべて、あるとよいものを考える。	発 ランドセルの中の様子について想像したことから材料などを生かし、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				☆学 つくることをたのしんだり、友達と見せ合ったりする。	主 自分や友達の作品のよさやつくりだす喜びを味わい、想像の世界をランドセルの中に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	
みんなでオン・ステージ	工	6	空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知 楽器の形や色、つくり方を工夫する。	知 空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。	弦楽器に表す活動に関心を持ち、つくりだす喜びを味わい、弦楽器づくりをしたり、友達といっしょに演奏したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
				技 箱や角材などの材料や用具を適切に扱い、これまでの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したい弦楽器に合わせて表し方を工夫して表している。	技 箱や角材などの材料や用具を適切に扱い、これまでの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したい弦楽器に合わせて表し方を工夫して表している。	
				思 どんな弦楽器にするか考える。	発 輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空き箱や容器の特徴から感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				☆学 友達といっしょにつくったり、演奏したりすることをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、弦楽器づくりをしたり友達と演奏したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	
				自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿	
いろいろ絵の具研究所	絵	2	身近なものを使って絵の具遊びをして、絵に表す。	知: 絵の具のいろいろな表し方を工夫する。	知: 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、作り出した形や色などの感じがわかっている。	絵の具遊びに関心を持ち、身のまわりのいろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。	
				技: 身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、表し方を工夫して表している。	技: 身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、表し方を工夫して表している。		
				思: 絵の具の新しい使い方から表したいことを考える。	発: 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけ、どのように表すか考えている。		
				主: 思いがけない形や色の美しさをたのしむ。	鑑: 造形的なよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
はる はる はる絵	絵	2	折り紙、包装紙、布などを切って貼りながら、思いついたことを絵に表す。	☆ 知: 材料の特徴を生かして、組み合わせを工夫する。	知: 紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色などの感じがわかっている。	紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色や質感などの感じが十分わかるとともに、切る形や組み合わせ方、配置や構成などをよく考えて、表し方を工夫して表している。	
				思: いろいろな材料の形や色、組み合わせから表したいことを考える。	技: 材料を切って並べる、重ねるなど表し方を工夫して表している。		発: いろいろな材料の形や色、質感などの違いやよさから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				主: 貼り絵に表すことをたのしむ。	鑑: 材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				主: 貼り絵に表すことをたのしむ。	主: 材料の形や色の組み合わせや配置のよさや美しさを味わい、貼り絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
紙バックでバックパク	工	4	四角い筒に棒材をつけた動く仕組みの動きを生かし、動くおもちゃをつくる。	☆ 知: 仕組みを生かして、飾りや動かし方を工夫する。	知: 四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかっている。	四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかるとともに、テープや接着剤を適切に扱い、仕組みの動きを確かめながら、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫してつくっている。	
				思: 仕組みから表したいものを考える。	技: テープや接着剤などを適切に扱い、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫して表している。		発: 仕組みの動きから表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
				主: 仕組みから表したいものを考える。	鑑: 互いの作品で遊びながら、造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				主: 仕組みから表したいものを考える。	主: 仕組みから表したいものを考える。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				学主	主	
むすんでつないで	遊	2	身近な場所に枝を結び付いたりひっかいたりして、思いついた活動をする。	学主 動かすと面白いおもちゃをつくることをたのしむ。	主 動く仕組みを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	身近な場所を使って枝をつないでできた感じから思いついた始めのイメージを、場所と枝の組み合わせや枝のつなげ方の工夫から、さらにイメージを発展させながら活動を考えている。
				知 枝の結び方やつなぎ方を工夫する。	知 身近な場所を使って枝をつなげ、思いついたことをする活動を通して、形や色などの感じがわかっている。	
				技 枝を結んだりひっかいたりつなげたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 身近な場所を使って枝を結んだりひっかいたりつなげたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	
				☆思 枝をつけた場所が変化する様子から、表したいことを考える。	発 枝と枝をつなげることでできる場所の変化をもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
鑑 造形的なよさやいろいろな表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。	鑑 造形的なよさやいろいろな表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。					
学主 枝を結んだりつないだりして、場所が変化することをたのしむ。	主 友達と協力して、枝を結んで場所を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。					
木々を見つめて	絵	4	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知 木の描き方や色づくりを工夫する。	知 身近にある木々を見たり触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。	身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げ、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				技 色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて、表し方を工夫して表している。	技 色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて、表し方を工夫して表している。	
				☆思 木から感じたことをもとに表したいことを考える。	発 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに自分のイメージをもちながら、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
学主 お気に入りの木を描くことをたのしむ。	主 身近にある木々に関心をもち、自分なりの木を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。					
自然の色 どんな色	鑑	2	自然が描かれた作家の絵を見て、形や色から感じ取ったことについて対話する。	知 作品のよさ、形や色の工夫に気づく。	知 身近な美術作品を鑑賞することを通して、形や色などの感じがわかっている。	形や色などの感じをもとに、自分のイメージを豊かにもち、身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆思 作品の形や色から感じ取ったことについて考	発 作品の形や色から感じ取ったことについて考	

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿
					鑑	主	
				ハ 心 える。	鑑	身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学	主	つくりだす喜びを味わい、自然が描かれた美術作品を鑑賞する学習活動に進んで取り組もうとしている。	
つないで組んで すてきな形	工	4	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	☆ 知 紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫する。	知	紙バンドを触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかっている。	紙バンドを触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかるとともに、紙バンドでいろいろな加工を試し、ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を自分なりに工夫して表している。
					技	ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を工夫して表している。	
					発	形や色などの感じから飾ったり使ったりするものを思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学	主	飾ることや使うことを思い浮かべてたのしくつくる。	紙バンドの特徴を生かして使ったり飾ったりするものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
お気に入りの形	立	2	粘土の形を変えながら、気に入った形を見つけて写真を撮ったり、つくり変えたりすることを繰り返し、立体に表す。	知 粘土を触ってできる形を工夫する。	知	粘土をさまざまな触り方をすることで粘土のできる形の感じが変わる特徴について、自分の感覚や行為を通してわかっている。	粘土をさまざまな触り方をして、粘土のよさを十分に味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。
					技	表したいことに合わせて手や指、手のひらなどの使い方を工夫して表している。	
					発	自分がお気に入りだと感じる形のイメージをもちながら、さまざまな触り方や形を見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑	友達の作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学	主	粘土の感触を味わいながら、つくり変えることをたのしむ。	粘土のよさを味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。
ちかぶるおちゅうです	絵	4	身近にあるたのしみを絵に表し、伝え合	☆ 知 夢中になっている様子が伝わるように表し方を工夫する。	知	身近な出来事を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	身近な出来事を描くことを通して、形や色などの感じがわかるとともに、これまでの描画材料の特性を生かして、伝えたいことに合わせて組み合わせたり、使い方を工夫したりして表し方を工夫している。
					技	これまでの描画材料の経験を生かして、伝えたいことに合わせて表し方を工夫している。	
					発	生活の中から絵に表したい場面を見つけて形や色などを生かしなが	

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
直線と曲線から生まれる形	立	4	割り箸と竹ひごを組み合わせて、紙を貼って、思いついたものを立体に表す。	☆ 思 線と面を生かした形を考える。	発 材料をつなげて立体をつくることから表したいことを見つけ、線と面の形を生かしながらどのように表すか考えている。	
					鑑 線と面を組み合わせた構成と形、色のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学 線と面を組み合わせて表すことをたのしむ。	主 線と面の組み合わせや形や色のよさを味わい、割り箸と竹ひごで組み合わせる学習活動に進んで取り組もうとしている。	
わくわくランドで遊ぼう	遊	2	身近な場所を生かしての楽しい遊び場をつくる活動をする。	知 身近な場所を生かした活動を工夫する。	知 活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色の感じがわかっている。	場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、次々に活動を思いついたり、豊かに変化させたりしながら、どのように活動するか考えている。
				☆ 思 学校にある場所や自然の材料を生かして、たのしく遊べるしかけを考える。	技 見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、身近な材料と組み合わせた感じを生かして活動を工夫してつくっている。	
				学 友達と協力しての楽しく活動する。	発 場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
				鑑 アトラクションを互いに見せ合ったり遊んだりして、よさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	主 友達と協力して、身近な場所や自然材料を生かしてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	
学校もりあげますコット	工	4	学校生活を応援してくれたり手伝ってくれたりするマスコットをカラフル紙粘土で立体的につくる。	知 紙粘土に絵の具を混ぜてつくるカラフル粘土で、形や色を工夫する。	知 紙粘土に絵の具を混ぜてカラフル粘土をつくり、マスコットを表すことを通して、形や色などの感じがわかっている。	学校を盛り上げるマスコットをつくることに意欲的に取り組み、その場所にふさわしい形や色を工夫して表すとともに、校内のさまざまな場所に飾って見せ合い、伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。
				☆ 思 その場所にふさわしい形や色のマスコットを考える。	発 学校の場所やもの、学校生活での経験などからイメージを広げ、表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
				☆ 学 マスコットをつくったり見せ合ったりして、伝え合うことをたのしむ。	鑑 自分や友達の発想、表し方の工夫や違いに気づき、見方や感じ方を広げている。	
				知 伝えたい場面に合わせて、つくり方を工夫する。	知 お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。	表したい感じを表すために進んで材料や用具を工夫して、お話のよさを友達に伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
本を開くとお気に入りの場面	工	4	本のお気に入りの場面を段ボールと軽量紙粘土などで作り、みんなで伝え合っただのしむ。	知る。	技 表したい場面に合わせて、形や色、紙粘土や段ボールなどの使い方や作り方などを工夫して表している。	
				思 お気に入りの場面をどのように表すか考える。	発 物語を読んで、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や登場人物の気持ちなどから、表したいことを思いつき、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいか考えている。	
				☆学 お気に入りの場面を伝え合うことをたのしむ。	鑑 友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
飛び出すハッピーカード	工	4	友達や家族に伝える飛び出すカードを作り、気持ちを伝える。	知る。	知 飛び出す仕組みのカードをつくる活動を通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。	相手のことを考えてカードに表したり、友達と交流しながら思いを伝え合ったりすることで自分の思いをより深める学習活動に進んで取り組もうとしている。
				思 贈る相手を思い浮かべて、伝えたいことを考える。	技 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて形や色や組み合わせ方を工夫して表している。	
				☆学 カードをつくったり渡したりすることをたのしむ。	発 贈る相手のことを思い浮かべて表したいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。	
ほった線からはじまるお話	絵・版	4	はじめに版木に彫刻刀で彫った線から広げたイメージを木版画に表す。	☆知る。	知 彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫する。	彫ったり刷ったりすることを通して、インクのつけ方などの違いやよさを十分に理解し、彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫刻刀の種類や彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。
				思 彫ってできた線の感じから想像を広げ、表したいことを考える。	技 彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	
				学 彫刻刀で彫って、紙に刷ることをたのしむ。	発 彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい話を思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑 材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
					主 版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
紙の箱だいへんしん	工	2	切ったり、組み合わせたりして紙の箱を変身させ、表したいものを考えて飾りをつくる。	知 箱の切り方や組み合わせ方を工夫する。	知 紙の箱を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色などの感じがわかっていく。	紙の箱を切ったり折ったり開いたりする活動を通して表したいことを見つけ、自分の表現を試行錯誤しながら振り返り、より自分らしくするためにどのように表すか考えている。
				技 紙の箱の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫して表している。	技 紙の箱の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫して表している。	
				☆ 思 切った箱の形や組み合わせた形から、つくりたい飾りを考える。	発 紙の箱を切ったり折ったりして形を変えながら表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしてどのように表すか考えている。	
				学 箱を切って組み合わせることをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品やその表現の過程などにおいて、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表現の工夫などを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
へんてこ山の物語	絵	4	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。	知 表したいことに合わせて、描く材料を選び、形や色を工夫する。	知 「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっていく。	「へんてこ山」の形から豊かに想像を広げて、表したいことを思いつき、お話を描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、どのように表すか考えている。
				☆ 思 思いついたへんてこな形からお話を考える。	技 描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を工夫して表している。	
				学 へんてこ山を描くことをたのしむ。	発 へんてこな形から表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。	
				主 描く喜びを味わい、想像の世界を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	鑑 自分や友達の「へんてこ山」のよさやおもしろさ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
カクカク板を組み合わせたら	工	4	のこぎりで切った板を組み合わせ、使ったのこぎりのものをつくる。	☆ 知 板の組み合わせを工夫する。	知 のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色、組み合わせの感じがわかっていく。	のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色、組み合わせの感じがわかるとともに、のこぎりで切ってきた形から、飾り方や用途などに合わせて表したいことを思いつき、組み合わせた形やその使い方を工夫している。
				思 組み合わせた形からつくりたいものを考える。	技 板を切ったり補助的な材料を組み合わせたりしながら、組み合わせた形やその使い方を工夫して表している。	
				主 切った板の形や組み合わせからイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	発 切った板の形や組み合わせからイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
				鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				学	主	
みんなでたのしいだんボールランド	遊	2	段ボールと場所をもとに、友達と協力して活動をする。	学 板の組み合わせから、新しい形が生まれることをたのしむ。	主 板をさまざまな形に切り分けて自分のつくりたいものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	つくりだす喜びを味わい、自他のイメージを共有して友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
				知 段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫する。	知 段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっている。	
				技 段ボールや段ボールカッターを適切に扱い、段ボールを組み合わせた切り、切ってつないだり、形を変えたりするなど、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 段ボールや広い場所などをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
				思 どんなだんボールランドをつくるか考える。	発 自分や友達の活動の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆学 友達と力を合わせて段ボールで活動することをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	
ゆめいろランプ	工	4	透明容器と光を通す材料を組み合わせ、ランプをつくってみんなで飾る。	知 ランプの材料や色の組み合わせを工夫する。	知 光を通す材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の感じがわかっている。	材料を透過する光のよさや影の形の面白さなどを十分に味わいながら、ランプをつくり、友達と協力してランプを飾る学習活動に進んで取り組もうとしている。
				技 用具を適切に使い、光を通す材料の形や色、その組み合わせ方などを表したいことに合わせて工夫して表している。	技 映る光の影の形や色、材料を切ったり重ねたりして想像したことなどから表したいことを見つけ、形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。	
				思 光を通した感じから、つくりたいランプを考える。	発 自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆学 ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしむ。	主 材料を透過する光のよさや面白さなどを味わい、ランプをつくって、みんなで飾る学習活動に進んで取り組もうとしている。	

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿	
季節を感じて	絵	4	季節から感じたことを絵に表す。	知 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する。	知 自分もった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさを理解している。	形や色、奥行き、色の鮮やかさなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージを豊かにもち、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、自分なりのこだわりをもち、どのように表すか考えている。	
				技 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	技 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				☆ 思 季節を感じて、表したいことや表し方を考える。	発 季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。		鑑 自分や友達の子どもの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				学 季節を味わい、描くことをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、自分もった季節のイメージを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
のぞくと広がる ひみつの景色	工	4	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	知 表したいことに合わせて材料を選び、組み合わせを工夫する。	知 「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を工作に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。	形や色、奥行きなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージを豊かにもちながら、感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、自分なりのこだわりをもちながらどのように主題を表すか考えている。	
				技 さまざまな材料を適切に活用するとともに、これまでの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	技 さまざまな材料を適切に活用するとともに、これまでの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				☆ 思 どんな秘密の景色にするか考える。	発 表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。		鑑 自分や友達の子どもの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				学 自分や友達の子どもの作品のよさを味わう。	主 つくりだす喜びを味わい、「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
ビー玉大ぼうけん	工	4	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	知 ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。	知 コースのしかけによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。	互いのアイデアをし合いながら力を合わせてコースターをつくり、友達と積極的に関わりながら遊んだりつくりかえたりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
				技 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。	技 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。		
				思 転がると面白いコースやしかけを考える。	発 玉の転がり方をもとにしかけを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。		鑑 作品で遊び、友達のコースの面白さやしかけの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				☆学 友達と協力してつくることをたのしむ。	主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、コースターをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
線から生まれた わたしの世界	絵	2	いろいろな線の描き方や重ね方を試し、表したいことを絵に表す。	☆知 線の描き方や組み合わせ方を工夫する。	知 いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。	発想豊かに想像を広げ、表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方など、表し方を工夫して表している。
					技 表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。	
				思 線を描きながら表したいことを考える。	発 線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑 線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
			学 いろいろな線を描くことをたのしむ。	主 思いのままに線で表す喜びを味わい、線で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
動きの形をつかまえよう	絵	2	人の動きや形をとらえて絵に表す。	☆知 人の動きや形をとらえて、表し方を工夫する。	知 人の動きを見たりそれを描いたりすることから、人の動きや形を理解している。	人の動きを見てそれを描くことから、人の動きや形を理解するとともに、材料や用具をさまざまに試しながら、表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして、表し方を工夫して表している。
					技 表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして表し方を工夫して表している。	
				思 動きや形をどのように表すか考える。	発 動きや形から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑 自分や友達の作品のよさや特徴などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
			学 いろいろな表し方で動きや形を描くことをたのしむ。	主 人の動きをとらえることをたのしみ、いろいろな表し方をして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
ねん土で動きをハイ、ポーズ！	立	2	粘土で動き出しそうな人物を立体に表す。	☆知 ねじったりひねったりして、動きの出る表し方を工夫する。	知 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解している。	粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解するとともに、実際の体の動きを角度を変えて見たり、自分でポーズをとってみたりすることで、体の構造を意識しながら粘土の形を変えていくなど、表し方を工夫して表している。
					技 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。	
			思 動きの感じをとらえ、表したいポーズを考える。	発 人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿
					鑑	主	
				心 いる。 学 粘土の触り心地を味わい、動きをたのしく表す。	鑑 自分や友達の作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	主 粘土の触り心地を味わい、人の動きを粘土で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
ぺたんこねん土でつくってみると	立	2	板粘土をつくり、それを立たせたり丸めたりしながら表したいことを立体に表す。	☆ 知 ぺたんこ粘土のできる形のつくり方を工夫する。	知 板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解している。	技 切ったりひねったりつけたしたりするなどして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を工夫して表している。	板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解するとともに、切ったりひねったりつけたしたりするなどして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を自分なりに工夫して表している。
				思 不思議な形から、つくりたいものを考える。	発 板粘土を巻いて丸めたり立てたりしてできた形をもとにイメージを広げ、表したい形を見つけ、どのように表すか考えている。	鑑 自分や友達の表し方のよさや面白さを味わいながら表現の特徴を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学 ぺたんこ粘土からできる形の面白さをたのしむ。	主 板粘土のできる形の変化のよさを味わい、粘土で形をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
だんボールでためしてつくって	立	4	段ボールの特徴を生かして、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	知 段ボールの折り曲げ方や切り方、組み合わせ方を工夫する。	知 段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。	技 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。	段ボールの形の変え方を試す中でイメージを広げ、段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				☆ 思 段ボールの特徴から表したいものを考える。	発 段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	鑑 段ボールの加工の工夫や作品のよさを互いに感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学 段ボールをいろいろな形に変えて、つくることをたのしむ。	主 段ボールの特徴を生かしてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
目つけてワイヤーワールド	立	6	針金の特性を生かして 立体的に表す	☆ 知 針金を曲げたり組み合わせたりして、つくり方を工夫する。	知 針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。	技 針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。	針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解するとともに、針金やペンチの扱いに十分に慣れ、針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。
					発 針金を曲げたりつないだりすることからイメージを広げ、つくりたい		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
くるくる回して	工	6	クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる。	<p>思 針金でできる形から、表したいことを考える。</p> <p>学 針金でできる形を見つけたりつくったりすることをたのしむ。</p>	<p>知 形を考えている。</p> <p>鑑 作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 針金に手を加えながらつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解するとともに、身近材料などを活用し、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、自分なりに表し方を工夫して表している。
コロコロ ローラーダンス	絵	2	ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。	<p>知 ローラーを使った表し方を工夫する。</p> <p>☆ 思 ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考える。</p> <p>学 ローラーを使ってたのしく活動する。</p>	<p>知 ローラーを使って表すことを通して、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさなどを理解している。</p> <p>技 ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。</p> <p>発 ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	ローラーの技を試行錯誤しながらローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、自分なりのこだわりをもって、どのように表すか考えている。
				<p>☆ 知 彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫する。</p>	<p>知 版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。</p> <p>技 彫り進み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷る色など表し方を工夫して表している。</p>	彫り進めながら発想を豊かに広げて形を構成し、重ねる色の効果をよく考えて刷り重ねて表現している。

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
重ねて広がる形と色	絵・版	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す。	思 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考える。	発 彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけ、どのように表現するか考えている。	
				鑑 自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	鑑 自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学 彫りと刷りを繰り返して表すことをたのしむ。	主 彫り進み版画の活動に関心を持ち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
進め！糸のこたん検隊	工	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせる。	☆ 知 電動糸のこぎりの使い方や板の組み合わせ方を工夫する。	知 板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。	板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解するとともに、電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を自分なりにこだわりをもって工夫して表している。
				技 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。	技 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。	
				思 切った板を組み合わせながら、表したいことを考える。	発 形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。	
鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。					
学 電動糸のこぎりでの切をたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこぎりで切り、板材を組み合わせる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	主 つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこぎりで切り、板材を組み合わせる学習活動に主体的に取り組もうとしている。				
地球まるごと たからばこ	遊	2	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	知 自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。	知 自然の材料と場所との組み合わせから、自然や材料の形や色、空間などを理解している。	友達と協力して、木の枝と木の枝をつるで結び合わせていくなど、自分たちだけの空間を想像しながら場所を変えていき、友達が変えた場所のよさにも気づき、面白さやよさを伝え合う学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				技 これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。	技 これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。	
				思 材料や場所の特徴を生かして何ができるか考える。	発 材料を集めたり、場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考えあわせながら活動することを考えている。	
鑑 身近な場所と自然の材料の組み合わせから、変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	鑑 身近な場所と自然の材料の組み合わせから、変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	鑑 身近な場所と自然の材料の組み合わせから、変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。				
☆ 学 自然の材料に親しみ、友達と協力してたのしく活動する。	主 友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。	主 友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。				
				知 場所に合わせてビニルひもの使い方を工夫する。	知 ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよいと思うものに変えることを通して、形や色、場所や空間を理解している。	友達と協力して、自他のイメージを共有しながらビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を変化させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
この空間がいい感じ	遊	2	学校のさまざまな場所にビニルひもを使ってつなぐことで空間を変化させる活動をする。	<p>～る。</p> <p>思: ビニルひもや場所の特徴からできることを考える。</p> <p>☆学: ビニルひもを使って空間を変えることをたのしむ。</p>	<p>技: 表したい空間になるようにビニルひもの使い方など活動を工夫してつくっている。</p> <p>発: ビニルひもで場所と場所とをつなぐことでできる空間の変化をもとに自分のイメージをもち、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。</p> <p>鑑: 造形的なよさやいろいろな表し方の特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。</p> <p>主: 友達と協力して、ビニルひもで空間を変化させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	十分満足できると考えられる具体的な姿
学校おすすめガイド	絵	4	学校の中で見つけたすてきなものやことを絵に描いて伝える。	<p>☆知: おすすめしたいことが伝わるように表し方を工夫する。</p> <p>思: 学校のおすすめしたいものやおすすめしたいことを考える。</p> <p>学: 学校の中でいろいろなよさを見つけて、伝え合うことをたのしむ。</p>	<p>知: 自分なりの見方や感じ方を働かせておすすめのものやことを絵で紹介する活動を通して、形や色などを理解している。</p> <p>技: おすすめしたいものやことのが伝わるように、描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表し方を工夫して表している。</p> <p>発: 学校の中からおすすめしたいものやことを思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑: 友達の表現の意図や表し方の工夫などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主: 学校の中でおすすめしたいものやことを見つけて、絵に表して伝え合う学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	自分なりの見方や感じ方を働かせておすすめのものやことを絵で紹介する活動を通して、形や色などを理解するとともに、おすすめしたいものやことのが伝わるように描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、こだわりをもって表し方を工夫している。
あったらいい町 どんな町	絵	4	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	<p>知: 思いついた形や色の組み合わせを工夫する。</p> <p>☆思: 想像を膨らませて、表したい空想の町を考える。</p> <p>学: あったらいいなと思う町を描くことをたのしむ。</p>	<p>知: 絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>技: 想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。</p> <p>発: あったらいいなという町を具体的に想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑: 自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主: 想像を広げる喜びを味わい、想像の町を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	どんな建物があるか、どんな住人がいるか、何が起きるのか、具体的にあったらいいなという町を豊かに想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
わたしの町のひみつ教えます	鑑	2	町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う。	知: 作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴に気づく。	知: 作品に描かれている町の様子を見て、形や色など理解している。	住人はどんな人か、何が起きるのか、どんなことができるのか、想像を膨らませて、積極的に自分の意見を伝えている。友達の見方も聞いて自分の見方をいっそう深めている。
				☆思: 町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深める。	発: 町の作品から、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学: 互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。	主: 互いの感じ方のよさや違いを味わい、町の作品を鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
動いてクレイアニメーション	工	6	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくってたのしむ。	知: キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫する。	知: オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。	積極的に友達とアイデアを出し合ったり、撮影しようとしていたりして、協力してクレイアニメーションをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				技:	技: お話をもとに、キャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫して表している。	
				思: キャラクターに合わせた動きとお話を考える。	発: キャラクターからお話を想像して表したいことを思いつき、動かし方やコマのつながりをどのように表すか考えている。	
				☆学: 友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。	鑑: 友達の作品の表現の意図や特徴、動かし方による違いなどについて、自分の見方や感じ方を深めている。	
おもしろ看板屋さん	工	6	学校のことをたのしくわかりやすく伝える看板をつくる。	知: 学校のことを伝える看板の形や色を工夫する。	知: 身のまわりの看板や展示する看板の形や色などを理解している。	つくりだす喜びを味わい、主題をわかりやすく伝えるためにはどのような表し方がよいかを探究しながら、学校のことを伝え合う看板をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				技:	技: 段ボールを活用し、これまでの材料や用具などの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	
				思: 学校の生活をたのしくする看板を考える。	発: 看板にして伝えたいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				鑑:	鑑: 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				☆ 学 看板をつくって伝え合うことをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、学校のことを伝え合う看板をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿	
紙が奏でる形と色のハーモニー	絵	2	色画用紙を切り抜いたり重ね合わせたりして、絵に表す。	☆ 知 色画用紙の切り方や組み合わせ方を工夫する。	知 紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解している。	紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解するとともに、色画用紙やカッターナイフを適切に活用して、これまでの色画用紙やカッターナイフについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせ、表したいことに合わせて表し方をこだわりをもって工夫している。	
				思 色画用紙を切ったり組み合わせたりしてできた形や色から、表したいことを考える。	技 色画用紙やカッターナイフを適切に活用するとともに、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		発 形や色、奥行き、色の鮮やかさなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、構成の美しさなどの考えを、どのように表すか考えている。
				学 色画用紙を切ったり組み合わせたりしてできた形や色のよさを味わう。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		主 つくりだす喜びを味わい、紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
絵のお話でプレゼント	工	4	友達と協力してお話と絵を考えて紙芝居をつくり、伝えることをたのしむ。	知 絵でお話が伝わるように形や色を工夫する。	知 グループで協力し、1年生に伝わるお話を絵に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。	つくりだす喜びを味わい、アイデアを出し合いながらグループで協力し、1年生に伝わるお話を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
				思 形と色でどのように表すか考える。	技 描画材料を活用し、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		発 形や色などをもとに、自分のイメージをもちながら、感じたことや、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの考えを、どのように表すか考えている。
				☆ 学 表し方について話し合い、友達と協力して絵に表すことをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		主 つくりだす喜びを味わい、グループで協力し、1年生に伝わるお話を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
いつもの学校が変身	遊	2	学校内の環境や場所の形を生かして、来校者がたのしくなるものやことを考えてつくる活動をする。	知 これまでに使った材料を使って、つくり方を工夫する。	知 見慣れた場所に新たな材料を組み合わせることを通して、動きや奥行きを理解している。	環境や場所の形状、日常の機能などから表したいものを発想豊かに思いつき、空間の構成を考え合わせながら、どのように活動するか考えている。	
				☆ 思 場所の特徴を生かして、アイデアを考える。	技 材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方など活動を工夫してつくっている。		発 異なる材料や場所との組み合わせから表したいものを見つけ、どのように活動するか考えている。
					鑑 自分や友達の活動の造形的なよさや表現の意図を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				学	主	
ゆらめきファンタジーワールド	遊	2	普段使っている教室や廊下を光と水を組み合わせることで、友達と協力して場所を変化させる活動をする。	学: 友達と力を合わせて活動をたのしむ。	主: 友達と力を合わせて活動する喜びを味わい、場所を変身させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	光と水のよさを感じ取り、空間を構成したり、周囲の様子を考え合わせたりしながら、表したいことを積極的に考え、どのように活動するか考えている。
				知: 場所の特徴を生かして、光と水の組み合わせを工夫する。	知: 天井や壁などに光と水のゆらめきを反映させる組み合わせ方や机や椅子の配置を考え、光の色の鮮やかさや奥行きを理解している。	
				☆ 思: 光と水のよさを生かして表したいことを考える。	技: 光と水のゆらめきがよりよく見える組み合わせや環境づくりなど、活動を工夫してつくっている。	
				学: 友達と協力してたのしく活動する。	発: 水にあてる光の角度を考えたり、場所に合わせて光と水の置き方を変えることから表したいことを思いつき、どのように活動するか考えている。	
すかして重ねてわたしの光	工	4	紙と光の特徴を生かして、自分が表したいランプをつくる。	☆ 知: 紙の切り方や組み合わせ方などを工夫する。	知: LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の組み合わせから、光と影の美しさや奥行きを理解している。	LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の組み合わせから、光と影の美しさや奥行きを理解するとともに、LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の造形的な特徴を生かして、紙の切り方や組み合わせ方などを試しながら、表し方を工夫している。
				思: 光を通した感じから、つくりたいランプを考える。	技: LEDライトや紙の特徴を生かして、紙の切り方や組み合わせ方などを試しながら、表し方を工夫して表している。	
				学: ランプをつくり、みんなで飾ってたのしむ。	発: 紙の透かし方や重ね方を試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑: 自分や友達の作品から、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
心も動き出すからくリンク	工	4	リンク機構を生かした動く仕組みから、表したいものをつくる。	知: 動く仕組みを理解して、つくり方を工夫する。	知: リンク機構を生かした動く仕組みを使って表すことを通して、動きやバランスについて理解している。	リンク機構を使って動く仕組みをもとに、表したいことを積極的に見つけ、自分のイメージを表すために試行錯誤をし、どのように表すか考えている。
				☆ 思: 動く仕組みから表したいものを考える。	技: はとめや割りピン、画用紙や工作用紙を活用して、形や色などの表し方を工夫して表している。	
					発: リンク機構を生かした動く仕組みをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
				心動くは組がなつたしんこしつたる。	鑑 友達の作品からよさや美しさ、つくった人の思いを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学 面白い動きをつくることをたのしむ。	主 動く仕組みの作品をつくりだす喜びを味わい、仕組みを生かして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
不思議なとびらのむこうには	絵	4	身近なものが不思議な扉になることを想像して不思議な扉の向こうに広がる世界を表す。	知 表したいことが伝わるように、表し方を工夫する。	知 身近なものを不思議な扉として表すことを通して、二つの世界の形や色の造形的な特徴を理解している。	身近なものが不思議な扉になるイメージを広げて、身のまわりのものをさまざまな視点から集め、自分の経験や想像から向こうの世界を考え出し、より表したい、伝えたい二つの世界を選び、どのように表すか考えている。
				☆ 思 身のまわりのものの向こうに、あったらいいな、面白いと思う世界を考える。	発 不思議な扉からイメージを広げて表したいことを見つけ、その世界の形や色、構成など、どのように表すか考えている。	
				鑑 身のまわりのものや友達の作品を鑑賞することから、造形的なよさや表現の意図を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	主 表したい二つの世界を表す描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	
				学 二つの世界を組み合わせて表すことをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、二つの世界を描く学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
わたしのお気に入りの場所	絵	4	学校内外のお気に入りの場所を絵に表す。	知 気持ちが表れるように、描き方を工夫する。	知 お気に入りの場所を描くことを通して、身のまわりの風景の奥行きや色の鮮やかさを理解している。	描きたいお気に入りの場所を見つけ、スケッチや観察をすることから感じたことをもとに想像を広げたり深めたりして、どのように主題を表すか考えている。
				☆ 思 お気に入りの場所から表したいことを考える。	発 気持ちや思いが伝わるように、描画材料を選び、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表し方を工夫して表している。	
				鑑 自分や友達の作品について、どんな思いで描いたのかについて考えたり伝え合ったりして、自分の見方や感じ方を深めている。	主 お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを深め、どのように主題を表すか考えている。	
				学 お気に入りの場所を描くことをたのしむ。	主 お気に入りの場所を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
わたしの一つの気持ち	絵	4	表したい気持ちを組み合わせる絵に表す。	知 気持ちが表れるように、形や色、筆使いを工夫する。	知 気持ちを表現する活動を通して、形や色の組み合わせやバランスを理解している。	心を開いて自分の気持ちに向き合い、自分の気持ちを表現するたのしさを味わい、二つの気持ちを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
					技 表したい感じに合わせて材料や用具を活用し、表しなどを工夫して表している。	
					発 気持ちに自分なりのイメージをもち、表したいことを見つけ、どのよ	

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
わたしの表現	絵	7	す。	<p>思 表したい二つの気持ちを考える。</p> <p>☆学 心を開いて、自分の気持ちを描くことをたのしむ。</p>	<p>知 うに表すか考えている。</p> <p>鑑 友達の作品を鑑賞することを通して、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 心を開いて自分の気持ちを表現するたのしさを味わい、二つの気持ちを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	十分満足できると考えられる具体的な姿
見て感じて わたしの表現に	絵	4	芸術家の作品を鑑賞し、気に入った表現方法を自分の絵にも取り入れて表したいことを絵に表す。	<p>知 芸術家の表現を取り入れて表し方を工夫する。</p> <p>思 芸術家の表現のよさから、表したいことを考える。</p> <p>☆学 芸術家の表現を取り入れて描くことをたのしむ。</p>	<p>知 芸術家の表現を取り入れて絵に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。</p> <p>技 水彩絵の具やクレヨン、パス、カラーペンなどを活用するとともに、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表している。</p> <p>発 自分のイメージをもちながら、感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 つくりだす喜びを味わい、芸術家の表現を取り入れて絵に表す活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	つくりだす喜びを味わい、芸術家の表現について考え、表現を取り入れて絵に表す活動に主体的に取り組もうとしている。
形の中に入ってみると	立	2	自分自身が作品の中に入り込んだつもりになることを手がかりに想像を広げ、粘土で立体に表す。	<p>知 空間を考えて、粘土の形の作り方を工夫する。</p> <p>☆思 作品の世界に入り込んだつもりになって、表したい形を考える。</p> <p>学 作品の中に入り込むことをたのしむ。</p>	<p>知 形の中に入り込むという感覚を通して、形がつくる空間を理解している。</p> <p>技 粘土の特徴を生かし、表し方を工夫して表している。</p> <p>発 形の中に入り込んで表す形の特徴をもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 友達の作品や街にあるモニュメントやオブジェなどからよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化など感じ取ったり、考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 作品の世界に入り込む喜びを味わい、粘土で形を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	形の中に入り込んで表す形の特徴をもとに、自分のイメージをもちながら、想像豊かに表したいことを見つけ、自分なりにこだわりをもってどのように表すか考えている。
				<p>知 粘土の板の切り方や組み合わせ方を工夫する。</p>	<p>知 粘土の板を切ったり組み合わせたりすることから、立体の美しさやバランスを理解している。</p> <p>技 粘土を切ったり曲げたりねじったりしたものを、表したいものに合わせて、組み合わせ方を工夫して表している。</p>	粘土の板を切ったり曲げたりねじったりした形の組み合わせ方を試しながら主題を決め、表し方を積極的に考えている。

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
ねん土の板から生み出す形	立	2	粘土の板を切ったり組み合わせたりして、表したいことを立体に表す。	☆ 思 粘土の板を切ったり形づくったりしながら、表したいものを考える。	発 粘土の板を切ったり形づくったりしながら自分なりのイメージを持ち、表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。	
				学 粘土の板を組み合わせてつくることをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品の造形的な美しさやバランスなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
					主 粘土の板を組み合わせながら表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
墨の達人	絵	2	筆やさまざまな用具を使って、墨のよさを生かして、表したいことを絵に表す。	知 墨のよさや特徴を生かして表し方を工夫する。	知 墨で描くことを通して、にじみやかすれ、動きやバランス、色の感じなどを理解している。	墨のよさを味わい、表し方をさまざまに試す中で墨の技法や用具を使ってできる形から表したいものを見つけたり、表したいことに合わせて表現を組み合わせながら、墨で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				思 墨の濃さや用具でできる形などから表したいものを考える。	技 表したいことに合わせて墨の技法や用具による効果を選んだり、組み合わせたりして表し方を工夫して表している。	
				☆ 学 墨で描くことをたのしむ。	発 墨の技法や用具によってできる形の感じなどから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑 自分や友達の作品の工夫したところ、表し方の違いやよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
					主 墨のよさを味わい、墨で描く学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
墨や筆の技 水墨画の世界へ	鑑	2	墨や筆のいろいろな技に注目して水墨画を鑑賞して、感じたことを話し合う。	知 墨や筆の技や水墨画の特徴に気づく。	知 雪舟の『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞する活動を通して、墨の濃さの違いによる形や色など、水墨画の造形的な特徴を理解している。	『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞して、お気に入りの場所を探して発表し合い、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
				☆ 思 墨や筆のいろいろな技から、作品のよいところを考える。	技	
				学 話し合いながら、墨や筆の技をたのしむ。	発 『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞して、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
					主 気づいたことや感じたことを話し合うことから、自他の感じ方の違いを味わい、鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
				☆ 知 材料の特徴を生かして、つくり方を工夫する。	知 異なる材料の組み合わせで表すことを通して、生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。	異なる材料を組み合わせで表すことを通して、生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解するとともに、材料の特徴を生かし、金属と木の効果的な組み合わせを試したりしながら材料の組み合わせ方や表し方を工夫して表している。

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
金属と木でチャレンジ	工	6	金属と木の特徴を生かして、それらを組み合わせ、飾るものをつくる。	<p>知 材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫して表している。</p> <p>技</p> <p>発 異なる材料の組み合わせから表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、材料の使い方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 自他の作品のよさを味わい、異なる材料の組み合わせによって表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>知 版による表現を通して、形や色の組み合わせと、そこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>技 版による表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫して表している。</p> <p>発 さまざまな方法を試しながら自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品から表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 版による表現方法のよさを味わい、ステレンボード版画に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>さまざまな方法を試しながら、想像豊かに自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p>
ためして刷って広がる思い	絵・版	4	これまでに経験した版画やステレンボードの特徴を生かして、版に表す。	<p>知 ステレンボードの特徴を生かして、表し方を工夫する。</p> <p>技</p> <p>発 版をつくったり刷ったりしながら表したいことを考える。</p> <p>鑑</p> <p>主 思いついた表し方をいろいろ試して、ステレンボード版画をたのしむ。</p>	<p>知 液体粘土で固めてできた形の組み合わせをいろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。</p> <p>技 液体粘土で固めた材料の特徴を生かして、置き方や表し方を工夫して表している。</p> <p>発 液体粘土で白くした形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 液体粘土や身近材料の手触りや変化を味わい、白く固めた形から思いついた世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>液体粘土で白く固めた形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを思いつき、立体の動きやバランスを意識しながら、どのように表すか考えている。</p>
白くなったら見える世界	立	6	身近材料を液体粘土などで白く固めた形の組み合わせから、表したい白い世界を立体に表す。	<p>知 材料の固め方や置き方を工夫する。</p> <p>技</p> <p>発 液体粘土で白くした形から表したいことを考える。</p> <p>鑑</p> <p>主 自分や友達の作品のよさを味わう。</p>	<p>知 液体粘土で固めてできた形の組み合わせをいろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。</p> <p>技 液体粘土で固めた材料の特徴を生かして、置き方や表し方を工夫して表している。</p> <p>発 液体粘土で白くした形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 液体粘土や身近材料の手触りや変化を味わい、白く固めた形から思いついた世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>液体粘土で白く固めた形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを思いつき、立体の動きやバランスを意識しながら、どのように表すか考えている。</p>

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿
わたしはデザイナー 12さいの力で	工	8	生活がたのしく便利になるものをつくる。	☆ 知 これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫する。	知 生活がたのしく便利になるものをつくることを通して、形や色、奥行きやバランスなどを理解している。	生活がたのしく便利になるものをつくることを通して、形や色、奥行きやバランスなどを理解するとともに、これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫し、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				技 これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫し、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	発 使う場面を思いうかべながら、板材で生活がたのしく便利になるものを思いつき、どのように表すか考えている。	
				思 使う場面を思い浮かべて、板材で生活がたのしく便利になるものを考える。	鑑 表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。	
				学 生活がたのしく便利になるものをつくることをたのしむ。	主 生活がたのしく便利になるものをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
ドリーム カンパニー	工	8	「夢の新製品」を友達と協力して考え、これまで学んだ既習事項を生かして工作に表す。	知 身近な材料の使い方や、製品の広告のしかたを工夫する。	知 夢の新製品をつくることを通して、形や色など造形的な特徴を理解している。	つくりだす喜びを味わい、どのようなことができるか探究しながら、あったらいいと思う新製品をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				技 表現方法に応じて身近な材料を活用し、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表している。	発 夢の新製品として表したいものを見つけ、どのように主題を表すか考えている。	
				思 あったらいいと思う新製品を考える。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
				☆ 学 協力してアイデアを考えたり表したりすることをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、あったらいいと思う新製品をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	